

地域交流の報告

令和7年7月吉日

暑い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

6月14日土曜日の10時より豊原地区小地域ケア会議に参加させていただきました。

今年度は福祉委員交代の地区が多く、地域包括支援センターより小地域ケア会議についての説明の後、グループに分かれて、社会資源マップを作成し、地域の現状や課題などを話し合いました。

豊原地区の中でも高齢化が進み住人が減少している地域や若い世帯が増え、自治会との交流が少ない地域など状況も違い、地域によって課題が違ってくるのが浮き彫りになりました。

以前の会議では、この話し合いから危険個所にカーブミラーの設置につながったこともあり、小地域ケア会議の取り組みが課題解決につながっているとのことでした。

邑久在宅介護支援センターもランチ事業所として、微力ながら地域の方々の一助になれるように、今後も努力していこうと思っています。

<小地域ケア会議の様子>



地域交流の報告

令和7年7月吉日

6月11日水曜日に邑久高等学校の認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして参加させていただきました。

瀬戸内市では小学校や中学校、高校などで認知症サポーター養成講座を行い、認知症の方々の暮らしやすい支えあいのまちづくりを学び、支援の輪を広げていく取り組みをされています。

講座の内容は認知症の知識の講義の後、実際に対応をグループごとに考え、寸劇を演じるものでした。

講義ではメモをとりながら話を聞く生徒さん、対応を考えるグループワークではみなさん話も弾み、寸劇では女優さながらの演技の生徒さんも…。

いつもの授業とはまた違った有意義な学びになられたのではないかと思います。

対応の意見では、新しい視点にこちらも気づかされることも多く、学びがありました。

邑久高等学校の皆さま、地域包括支援センター皆さま、一緒に参加されたキャラバンメイトの皆さまありがとうございました。

<認知症サポーター養成講座の様子>

